

2018Japan National Team Report ”選手”



報告者	クラブ 海陽海洋クラブ 学年: 中2 氏名: 川前 優太		
大会名	2018 Asian & Oceanian Championship		
開催地	Ngwe Saung , Myanmar		
大会期間	10-17 November 2018		
セールNo	JPN 3355	最終順位	49位/129名

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、海外派遣担当までメールにて送付して下さい
- JODA理事会にて確認の後、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
 1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
 2. なるべく詳細に記入して下さい
 3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について
 1. このレポートを補足する資料として必要な場合は、文中に貼り付けて下さい
 2. 他国のOP艇を接近して撮影することを禁止します

気温、水温、ウエアについて	水温は日本とは違ってとても暖かく、気温は蒸し暑かった。 ウェットやパッドジャケ、トラウザーは必要なく海パンやTシャツで十分だった。
海面(湖面)の特徴や風の傾向	毎日2~3Mの風が吹き、陸からの風の時は、振れが激しかった。海からの風の時は、微風から中風までのシーブリーズが入っていた。
セッティングで注意したこと	ラフテンションとバングを柔らかくして、若干横じわが入るようにスプリットを入れた。
セーリングで注意したこと	セールトリムをして、ボートスピードを殺さないようにした。
海上で練習したこと	男子5人でひたすらスピード練習をした。

実際のスベリはどうでしたか？	ボートスピードと角度が、まだまだ負けている場面が多かった。
スタートは、どうでしたか？	失敗も少しあったけど、最高の上スタートが切れた。
コース戦略はどうでしたか？	よいスタートが切れた時は、思い通りのコース取りができた。
自分より上位の選手との違いは？	ボートスピードと上り角度、スタート後のボートスピード。
国内の練習で役立ったこと	少しメイントリムができたことで、ひどい結果にはならなかった。
国内の練習で足りなかったこと	ボートスピードを保ち続けることと、波への対応。
印象に残った外国選手は？	THA244、ボートスピードが速く、安定して上位の順位を取っていた。
行く前と、行ってからで違ったことはありませんでしたか。	自分のボートスピードが通用しなかったので、悔しかった。
今後の課題と目標は？	スタートとボートスピードに自信をつけて、外国の選手と対等に渡り合えるようにする。
JODAへの要望	ないです。
その他	ありがとうございました。

ご協力ありがとうございました

JODA 海外派遣委員会